

「ADHD グレーゾーン（不注意タイプ）」と「不登校傾向の児童」に関する調査

この度は調査へのご協力ありがとうございます。特別支援教育コーディネーターを担当している先生にお尋ねします。

ADHD（注意欠如・多動症）とは、発達障害の一つであり、不注意、多動性、衝動性などの行動面における症状を特徴とするものです。不注意とは、気が散りやすい、忘れっぽいなどの注意を継続することの困難、多動性とは、じっとしていることが苦手、落ち着きがない、離席をするなどの運動を調整することの困難、衝動性とは、思いついた行動について行っても良いか考える前に実行してしまう、順番を待てないなどの行動を抑制することの困難です。

ADHD 症状の一部は認められるが、診断には至らない、またはおそらく診断されないという状態

を本調査では『ADHD グレーゾーン』と称します。特に本調査では、多動性・衝動性よりも『不注意』の傾向が強い児童を対象とします。〔ただし、そうした児童がいない場合は、多動性・衝動性の傾向が一部認められる ADHD グレーゾーンの児童でもかまいません。〕また、ADHD グレーゾーンとは別に、不登校・不登校傾向の児童がいらっしゃいましたら、合わせてお答えください。

東京学芸大学・橋

ADHD グレーゾーン(不注意)

★ADHD グレーゾーン（不注意）の児童とは、以下に挙げたような行動がみられます。

- ・持ち物をすぐ紛失する
- ・教師の話をぼーっとして聞いていない
- ・自分のロッカーなど、決まった場所に片づけができない
- ・食べながらポロポロとこぼし、こぼれていても平気である
- ・机やかばんの中からずいぶん前に配ったプリントが出てくる
- ・提出物を出し忘れる、家で用意してあっても持ってくるのを忘れる
- ・授業中、机の上にあるものをよく落とす など

1.

- (0) 教員歴について教えてください _____ 年
- (1) あなたがよく知る通常の学級に、上記の ADHD グレーゾーン（不注意）の児童（なるべく高学年児童） を一人思い浮かべてください（ただし、そうした児童がいない場合は、多動性・衝動性の傾向が一部認められる ADHD グレーゾーンの児童でもかまいません）
- i) 本対象児の性別と学年を教えてください。 性別：男 ・ 女 ・ その他 / 学年： _____ 年生
- ii) 対象児の多動・衝動性についてあてはまるものに○印を付けてください。
- ①とてもある ②少しある ③あまりない ④全くない
- iii) 本対象児に現在行っている支援であてはまるものに○印を付けてください（複数回答可）。
- ①通級による指導 ②支援員がついている ③個別指導計画の作成
- ④机間巡視の重視 ⑤個別対応 ⑥見守り
- ⑦その他（ _____ ）

iv) 対象児にみられる行動で、あてはまるものに○印をつけてください。

| 〈選択肢〉 | | とてもあてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | 全くあてはまらない |
|-------|----------------------------------------|----------|---------|------------|-----------|
| 4: | とてもあてはまる | | | | |
| 3: | ややあてはまる | | | | |
| 2: | あまりあてはまらない | | | | |
| 1: | 全くあてはまらない | | | | |
| a | 学習などの課題や活動に必要なものをなくす | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b | 赤白帽子（体育用など）がきちんとかぶれない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c | 授業中、鉛筆などの文房具で遊んだり、手遊びをしている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d | 連絡ノートの記入漏れが多い | 4 | 3 | 2 | 1 |
| e | 配布物や教科書、ノートなどを持って帰るのを忘れる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| f | 整理整頓が苦手で、机の上・机の中がとても乱雑である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| g | 周りの児童が次の活動に移っても（例：体育館へ行くために廊下に並ぶ）気づかない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| h | 複数の指示に対して全部または一部を忘れる（不十分に行う） | 4 | 3 | 2 | 1 |
| i | プリント等で名前を書き忘れ、問題飛ばし等のケアレスミスが多い | 4 | 3 | 2 | 1 |
| j | 考えがまとまらず、周囲は何を言いたいのか分からない説明になる | 4 | 3 | 2 | 1 |

v) 上記に挙げた行動以外で、対象児にみられる不注意の傾向や支援が必要だと思うことについてお書きください。

(3) 「グレーゾーン」という区分・名称は必要だと思いますか。回答者のお考えで結構ですので、お答えください。また、その理由についてお書き下さい。

- ①必要である ②不要である ③どちらとも言えない

→その理由について

2. 以下の仮想事例:Aさんについてお答えください.....

Aさんは、小4 児童(通常級)です。ADHD の診断はされていませんが、先生の話をお聞きしてあげず、整理整頓ができません。提出物を期限までに提出できないことも多いです。また、約束を忘れることがあるので、Aさんのことを苦手に思っている周囲児童も少なくありません。

(1) Aさんに対して、あなたの学校では、担任教師が以下の対応をどの程度行うと思いますか。それぞれの質問項目の1～4の選択肢番号に○印を付けてください。

| 〈選択肢〉 | | 必ず実施する | やや実施する | あまり実施しない | 全く実施しない |
|-------|-------------------------|--------|--------|----------|---------|
| | | | | | |
| | 4：必ず実施する | | | | |
| | 3：やや実施する | | | | |
| | 2：あまり実施しない | | | | |
| | 1：全く実施しない | | | | |
| a | Aさんの座席の位置を前や後ろなどにする | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b | 保護者と密に連絡をとる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c | その場ですぐに注意する | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d | 重点的に机間指導を行う | 4 | 3 | 2 | 1 |
| e | 個別の指導計画を作成する | 4 | 3 | 2 | 1 |
| f | 個別に状況を聞き取り，説諭する | 4 | 3 | 2 | 1 |
| g | 問題対処（事前に予告するなど）の準備をしておく | 4 | 3 | 2 | 1 |
| h | 周囲児に対して理解を求める | 4 | 3 | 2 | 1 |

(2) 上記に挙げたAさんの対応以外で，担任教師が行うと考えられる対応があればお書きください。

3. 以下の仮想事例：Bさんについてお答えください.....

Bさんは，小4 児童(通常級)です。ADHD の診断があります。授業中に注意が散漫になり，すぐ他のことに注意がそれてしまいます。また，給食当番なのに片づけしないで遊びに出てしまった際に友達から注意を受け，かっとなって友達を叩いてしまうこともあったため，Bさんのことを苦手に思っている周囲児童もいるようです。

(1) Bさんに対して，あなたの学校では，担任教師が以下の対応をどの程度行うと思いますか。

それぞれの質問項目の1～4の選択肢番号に○印をつけてください。

| 〈選択肢〉 | | 必ず実施する | やや実施する | あまり実施しない | 全く実施しない |
|-------|--------------------------|--------|--------|----------|---------|
| | | | | | |
| | 4：必ず実施する | | | | |
| | 3：やや実施する | | | | |
| | 2：あまり実施しない | | | | |
| | 1：全く実施しない | | | | |
| a | Bさんの座席の位置を前や後ろなどにする | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b | 保護者と密に連絡をとる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c | その場ですぐに注意する | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d | 重点的に机間指導を行う | 4 | 3 | 2 | 1 |
| e | 個別の指導計画を作成する | 4 | 3 | 2 | 1 |
| f | 個別に状況を聞き取り，説諭する | 4 | 3 | 2 | 1 |
| g | 問題対処（飛び出しへの対処など）の準備をしておく | 4 | 3 | 2 | 1 |
| h | 周囲児に対して理解を求める | 4 | 3 | 2 | 1 |

(2)上記に挙げた B さんの対応以外で、担任が行うと考えられる対応があればお書きください。

不登校・不登校傾向

4. 不登校(週1日程理由なく休む)・不登校傾向(休みがちで登校しぶりがある)について.....

(1) 通常の学級に在籍する不登校・不登校傾向の児童のなかで 1 名を一人思い浮かべてください。

その児童 (Cさん) の学年と以下の行動で、あてはまるものに○印をつけてください。

・その児童 (Cさん) は何年生ですか? _____ 年生

| 〈選択肢〉 | | とてもあてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | 全くあてはまらない |
|-------|-------------------------------|----------|---------|------------|-----------|
| 4: | とてもあてはまる | | | | |
| 3: | ややあてはまる | | | | |
| 2: | あまりあてはまらない | | | | |
| 1: | 全くあてはまらない | | | | |
| a | 友だち関係がうまくない (トラブルや苦手な友だちがいる) | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b | 教師とのコミュニケーションが苦手である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c | 学習内容の理解が難しいことが多い | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d | 生活リズムが乱れている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| e | 遅刻や早退が多い | 4 | 3 | 2 | 1 |
| f | 家族との関係がよくない (反抗的な態度や不和がみられる) | 4 | 3 | 2 | 1 |
| g | 気分に変動がある | 4 | 3 | 2 | 1 |
| h | 学校生活への過剰適応がみられる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| i | 複数の指示に対して全部または一部を忘れる (不十分に行う) | 4 | 3 | 2 | 1 |
| j | 心氣的訴え (不定愁訴) がある | 4 | 3 | 2 | 1 |
| k | 自傷やオーバードーズ, 他害がみられる | 4 | 3 | 2 | 1 |

